



2022年11月11日

各 位

上場会社名 天龍製鋸株式会社
 代表者 代表取締役社長 大石 高彰
 (コード番号 5945 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役経営管理部長 堀内 敏晴
 電話番号 0538-23-6111

第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	1,200	1,300	870	188.01
実績値(B)	7,211	1,231	1,646	1,142	246.82
増減額(B-A)	△288	31	346	272	—
増減率(%)	△3.9	2.6	26.6	31.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	6,996	1,448	1,563	1,098	237.40

差異が生じた理由

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績のうち、売上高に関しては前回発表予想を下回る実績となりました。これは中国でのゼロコロナ政策による主要都市のロックダウン、米国での金利上昇に伴う影響が想定以上であったことが主な要因です。

営業利益は、物流コスト等が増加したものの、前回発表予想を若干上回る実績となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、円安による為替差益により、前回発表予想を大きく上回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、資源・原材料・エネルギー価格の高騰、世界各国の金融引き締め政策による景気の減速懸念、半導体・各種部品の供給不足による生産調整などにより、依然として世界経済の先行きが不透明な状況であることから、2022年5月13日に公表した数値の変更はできかねる状況です。今後の業績動向等により、業績予想の修正が必要となった際には速やかに公表いたします。

以上